

麦類技術情報No. 3

平成30年3月31日

麦類栽培者 各位

JA 営農支援課
大潟村麦類生産班

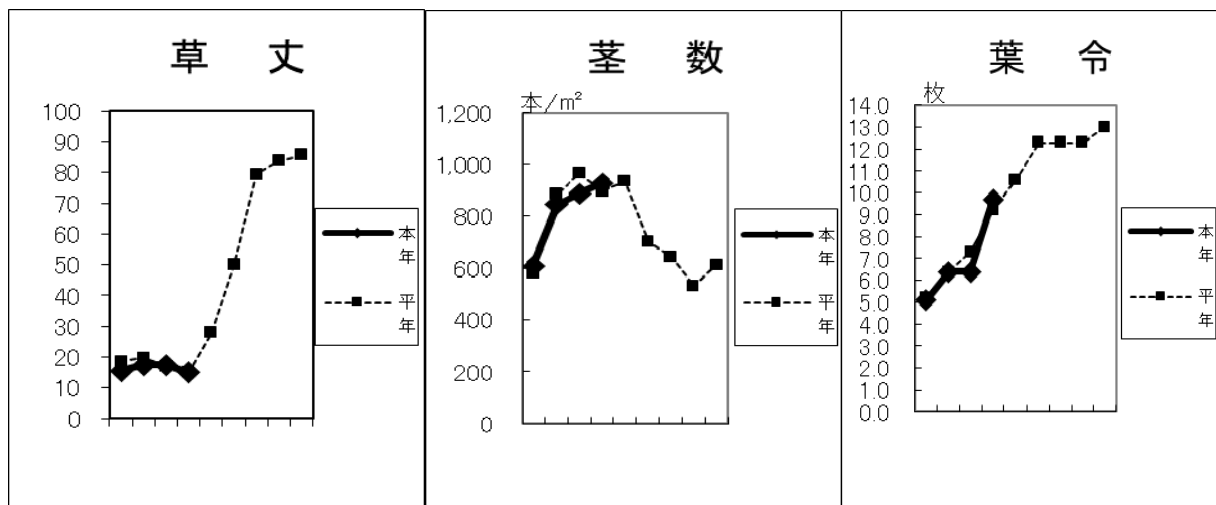
麦類の生育状況と今後の管理について

平成30年産麦類は、例年よりも早い雪解けと気温が上昇したことにより、越冬前の生育量不足から平年並へ回復傾向となっております。また、現在の生育状況から**幼穂形成期**を迎えているものと思われれます。また、圃場によっては、雑草(スズメノテッポウ)が繁茂している圃場が見受けられますので、下記を参考に今後の管理に万全を期してください。

1. 3月30日現在の生育状況

	品種名	草丈 (cm)		茎数 (本/m ²)		葉令 (葉)		幼穂 (mm)		SPAD	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
小麦	銀河のちから	15.0	15.1	928	897	9.7	9.2	2.6	2.4	52.2	50.7
	平年比	99.6 %		103.4 %		+0.5		+0.2		102.9 %	

2. 銀河のちからの生育相の推移



3. 今後の肥培管理

現在幼穂形成期(幼穂 2mm 期)を迎えているほ場もありますので、N成分 2~3 kg/10a (硫酸現物で 10kg~15kg)を目安に追肥を行ってください。

「銀河のちから」は葉色が濃い品種になっておりますので、SPAD値 55 以上であれば追肥を控えるようにしてください。

4. 雑草対策について

現在「スズメノテッポウ」を中心に各圃場とも雑草が発生しております。

天候を見計らい、まだ散布を実施されていない方は、各自圃場を確認のうえ、10a 当たり『ハーモニー75DF 水和剤』10gを水 100L(10,000 倍)に溶かして散布してください。

※スズメノテッポウについては5葉期まで。

スズメノカタビラには効果はありません。

麦の草丈が伸びると雑草へ薬剤が付着しないため、十分な殺草効果が得られません。

◎ 茎葉処理剤 一覧

薬剤名	使用時期	対象	希釈水量 (散布薬量)	使用回数
ハーモニー75DF 水和剤	播種期~節間伸長前	一年生広葉雑草 スズメノテッポウ	100L/10a (10g/10a)	1回
バサグラン液剤	雑草3葉期~6葉期 小麦収穫45日前まで	一年生雑草 (イネ科を除く)	70~100L/10a (100~200ml)	1回
MCPソーダ塩	幼穂形成期 小麦収穫45日前まで	一年生及び 多年生広葉雑草	70~100L/10a (200~300g)	1回